

文部科学省「家庭教育支援チーム」 登録制度を活用しましょう！

登録には、文部科学省への申請が必要です。申請の窓口は各市町の担当課です。取組内容が文部科学省の示す登録要件を満たせば登録されます。

登録制度の要項等はこちらをご覧ください。



行政主導の場合

家庭教育担当部署による取組内容の検討や予算の確保等

地域住民主導の場合

地域住民・NPO等による取組内容の検討等

登録の手続き

各市町の担当課に申請書を提出

↓
文部科学省の確認のうえ登録

↓
家庭教育支援チームの活動開始

香川県にも**家庭教育支援チーム**があります！

香川県で活動する「家庭教育支援チーム」



(宇多津町家庭教育支援チーム)
L'espacelabo(レスパスラボ)



(高松市家庭教育支援チーム)
ぴっぴ子育て



(高松市家庭教育支援チーム)
親の育ちサポートかがわ

各チームの詳細情報はこちらをご覧ください。



(三豊市家庭教育支援チーム)
ぴっぴ子育て

(三豊市家庭教育支援チーム)
@みとスタ



文部科学省HP
子供たちの未来をはぐくむ
家庭教育



香川県HP
かがわの家庭教育

参考文献・資料
・文部科学省 「家庭教育支援チーム」の手引書 家庭教育支援チームは身近な地域の子育て・家庭教育応援団！ 平成30年
・文部科学省 つくろう！家庭教育支援チーム～地域の力で家庭や子供を支える～ 令和3年
・香川県教育委員会 令和5年度家庭教育状況調査 令和5年



家庭教育支援チーム

家庭教育支援チーム

—子育て・家庭教育の身近な応援団—

子どもが小さいときは親にも時間の余裕があったけれど、大きくなるにつれて親も忙しくなって、子どもとの時間もとれないし、優しくかかわることもできなくなっている。最近、子どもとのかかわり方に難しさを感じるな…

共働きで、他の保護者と交流する機会も少ない。交流する機会があればうれしいけれど、気をつかうのも疲れる。気楽に立ち寄って、気楽に話せる場所があれば、ありがたい。



子育てについて分からないことを教えてもらったり、悩みや不安を誰かに共感してもらったりする場があれば、自分も安心できるし、子どもとも今以上に良いかかわり方ができると思う。

子どもが思春期になると、親との距離もだんだん離れていき、子どもの状況が分かりにくくなった。家や学校以外にも、子どもが安心して過ごせる場所や親がちょっとした相談ができる場所が増えて、地域の中で安心して子育てができたらいいな…

みんなで家庭教育を応援しましょう！

近年の都市化や核家族化、少子化、地域におけるつながりの希薄化等、家庭や家族を取り巻く環境は大きく変化しています。このような環境の変化によって、保護者が身近な人から子どものかかわり方を学んだり、悩みや不安を相談したりする機会が減少していることも懸念されます。

家庭教育の重要性について社会全体で考え、保護者の皆さんが安心して子育てや家庭教育ができるように応援していくことが大切です。

このリーフレットは、地域のつながりのなかで安心して家庭教育が行えるように、家庭教育支援の輪が広がっていくことを願って作成したものです。

お問い合わせ

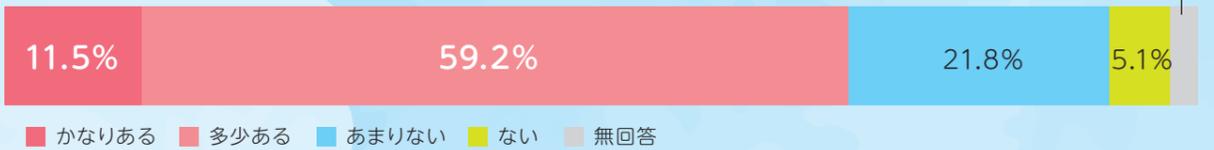
香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課 社会教育グループ
〒760-8582 香川県高松市天神前6番1号 TEL: (087) 832-3774 FAX: (087) 831-1912
E-mail: shogaigakushu@pref.kagawa.lg.jp

香川県の子育てや家庭教育の現状

香川県教育委員会では令和5年度に「家庭教育状況調査」を実施しました。この調査では4歳児、小学校4年生、中学校2年生の保護者から回答をいただき、子育てや家庭教育の現状が以下のように明らかになりました。

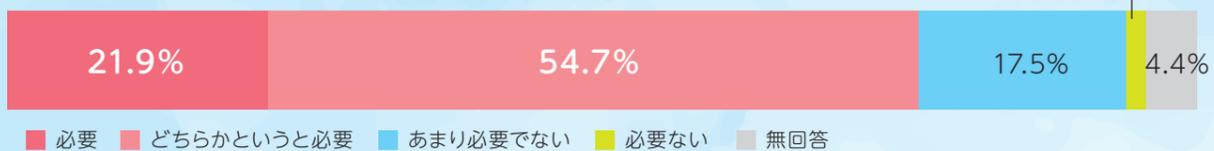
家庭教育の悩みや不安

約70%の保護者が子育てや家庭教育に悩みや不安をもっています。



地域の人とのかかわり

約75%の保護者が地域の人とのかかわりが必要だと思っています。



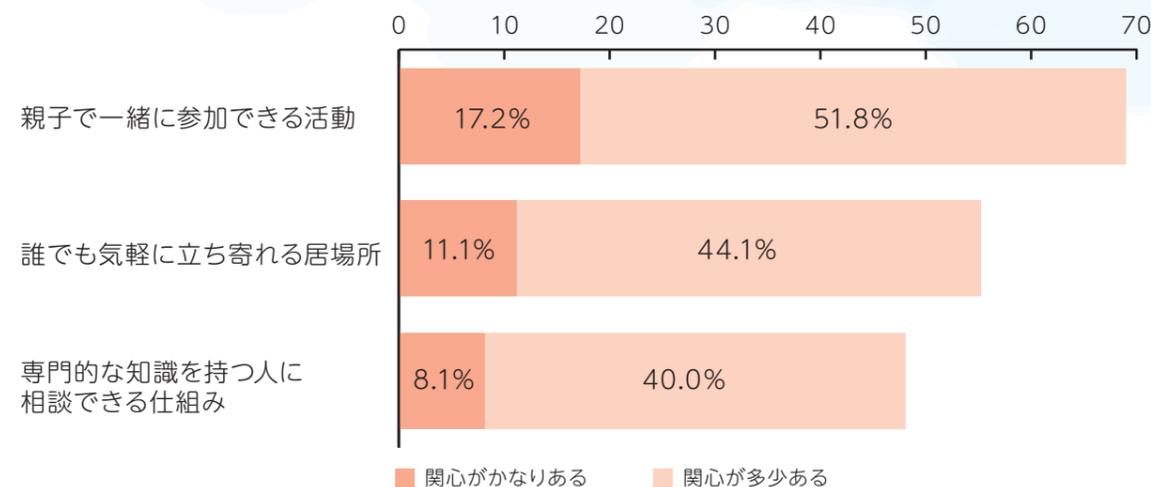
地域の人とかかわる機会

地域の人とかかわりがある保護者は約45%にとどまっています。



家庭教育支援への関心

親子のふれあいの場や気軽に立ち寄れたり、相談できたりする環境が求められています。



(香川県教育委員会 令和5年度家庭教育状況調査)

保護者と同じ目線で寄り添う家庭教育支援チーム

Q 家庭教育支援チームとは？

A 身近な地域において、子育てや家庭教育を頑張っている保護者を様々な取組みによって支え、応援する団体です。文部科学省では「家庭教育支援チーム」の登録制度を設けています。全国で多くの団体が登録し、家庭教育を応援しています。



家庭教育支援チーム

文部科学省より提供される「家庭教育支援チーム」のロゴマーク

Q どんな人たちが活動しているの？

A 地域の実情に応じて、子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成されています。



(文部科学省「家庭教育支援チーム」の手引書)

Q どんな取組みをしているの？

A 地域のニーズに対して構成員の経験やスキル、ネットワークを活かし、以下のような家庭教育支援の取組みを行います。

学びの場の提供

子育てや家庭教育に関する学習機会や情報を提供します。

地域の居場所づくり

親子参加型の体験プログラムや保護者の交流の場等を提供します。

アウトリーチ型家庭教育支援 (保護者の居場所に出向いて届ける支援)

自宅や学校、企業等に出向いて情報を提供したり、相談対応をしたりします。

これらの他にも家庭教育支援の目的に沿った様々な取組みを継続的に行っています。

Q どんな役割が期待されているの？

A 家庭教育支援チームには、主に以下の役割が期待されています。

- 子供が成長するまで保護者と同じ目線で寄り添う役割
- 学校や行政の相談窓口には気軽に相談しにくい点をフォローする役割
- 行政ではどうしても手が回らない部分をフォローする役割
- 家庭と学校、教育委員会、保健福祉関係機関など関係機関をつなぐ役割
- 虐待等の未然防止や不登校等の課題を抱える保護者をサポートする役割など

(文部科学省「家庭教育支援チーム」の手引書)